

# 災害から身を守る 備えあれば憂いなし

## ハザードマップをどう活用するの？



- 自宅や勤務先周辺などの危険箇所を確認する
- 避難する場所や避難経路など避難行動を確認する

※地震や水害、土砂災害などあらゆる場面を想定しておきましょう。

※災害について、家族や親戚と話し合うことや実際に避難経路を歩いてみることも大切です。

ハザードマップを掲載している「安中市災害対応ガイドブック」は本庁舎危機管理課または総務管理課でお渡しできます。また、市ホームページからもご覧になれます。



**身** 近な危険箇所を  
事前にハザードマップ  
を使って確認



※実際のハザードマップとは異なります。

## あなたがとるべき避難行動は？ 避難行動判定フロー

### スタート

安中市災害対応ガイドブックに掲載しているハザードマップで自宅がどこにあるか確認してみましょう。

自宅がある場所は色が塗られていますか？

はい

災害発生のおそれがあるので、原則※として、自宅の外に避難が必要です。

いいえ

あなた、または一緒に避難する人は避難に時間がかかりますか？

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

いいえ

身の危険を感じたら、または警戒レベル3が発令されたら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう（日頃から相談しておいてください）。

はい

身の危険を感じたら、または警戒レベル3が発令されたら、市が指定している指定緊急避難場所・指定避難所に避難しましょう。

色が塗られていなくても、低い土地や崖のそばなどにお住まいの人は、市からの避難情報などを参考に自主的に判断し、必要に応じて避難してください。

※原則は、自宅の外に避難ですが、急激な降雨や浸水により屋外への避難行動が困難な場合は、建物倒壊の危険がないことを確認して、自宅の上階や崖から離れた部屋など、より安全な場所に避難してください。

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

身の危険を感じたら、または警戒レベル4が発令されたら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう（日頃から相談しておいてください）。

いいえ

身の危険を感じたら、または警戒レベル4が発令されたら、市が指定している指定緊急避難場所・指定避難所に避難しましょう。

近年、全国各地で激甚化した豪雨や地震などの災害が発生しています。本市においても、昨年10月に台風第19号が接近した際に市内全域に避難勧告を発令しており、今後も災害発生が懸念されます。新型コロナウイルス感染症が終息していく

ない現況においても、災害はいつどこで発生するかわかりません。そのため、災害に備えて準備をする必要があります。皆さんのお住まいの地域の災害リスクを把握する事で、事前に確認しておきましょう。